

# #NICE

Numazu association for International Communications & Exchanges

Vol.60

発行日 2007年1月1日  
発行者 NICE 沼津国際交流協会  
(企画広報部会)  
所在地 沼津市御幸町16番1号  
(事務局) 沼津市役所地域づくり推進課国際交流室内  
☎055-934-4717



## 技能五輪世界大会を成功させよう!

## 国際理解教育部会

# スピーチコンテストを終えて

10月1日(日)、沼津市立図書館に於いて「第15回英語&日本語スピーチコンテスト」が開催されました。

当日は生憎の雨にもかかわらず多くの聴衆が訪れ、また長時間にわたり熱心に耳を傾けてくださり、大盛況でした。例年通り出場者のレベルも高く、いずれも審査員を悩ませるすばらしいスピーチでした。



英語の部には、沼津市、熱海市、富士市、清水町、長泉町と広い地域から、また年齢層も高校生から社会人まで幅広い出場者が集いましたが、女性が8割を占め、女性の関心の高さがうかがえました。

表現については、小道具を使って聴衆の視覚に訴える方、聴衆から目を離さず言葉だけでしっかり伝える方とそれぞれでしたが、いずれの方も堂々と自分の考えを主張されていました。

日本語の部には、マレーシア、ベトナム、ラオス、ペルー、カナダ、韓国からの出場者が集い、人数的にはアジアの方が多かったものの、男女比は半々と、英語の部とは対照的にバランスが取れていました。内容は、日本で留学して思ったことなどの身近なことから、哲学的なことなど様々でしたが、いずれも体験に基づいた感情のこもったスピーチで、聴衆も引き込まれていました。



今回あらためて強く感じたことは、このコンテストが単に語学力を披露する場にとどまらず、日本人と外国人がお互いのことを理解するためのよい機会を与えていることです。これからも少しでも多くの方に、このコンテストに関心を持っていただくと幸いです。読者の皆さま、次回もすばらしいスピーチが期待されます。ぜひ足をお運びください！

## コンテストの結果

### (英語の部)

優勝 中島由佳

「Even house wife can do anything」

準優勝 伊藤 厚

「My English conversation exercise」

第三位 鈴木瑠美子

「The key to Communication!」

### (日本語の部)

優勝 シム・オンチョウ

「銀河通信」

準優勝 サウエンスクサー・オラパン

「真実と信じること」

第三位 ウォン・テッスーン

「日本にいる半年」



# トルコのクッキングサロンを終わって

12月10日(日)、金岡地区センターにおいて、トルコのクッキングサロンが開催されました。

師走の日曜日にもかかわらず、参加者20名、スタッフ10名が、トルコ出身の小宮山ハミエットさんとともに、ゆったりとケーキを焼きながら調理と会食を楽しみました。とても美しい日本語を話す彼女は、本当に素敵で魅力的な方でした。

トルコでは、どの家庭でもサラダ、豆、ヨーグルトをよく食べるとのことで、今回はそうした家庭料理の中からハミエットさんが6品選んで計画を立てていただきました。

## メニュー

- 赤レンズ豆とほうれん草のスープ
- にんじんのサラダ
- 結婚式のピラフ
- ヨーグルトケーキ
- トルコ風春巻き  
(チーズ入りとりんご入り)



他にも、バラのジャムを入れて飲んだ紅茶、ヨーグルトドリンク、貴重なぶどうの葉を使った料理、ひよこ豆とニンニクなどをペーストにしてつけたものと盛りだくさんでした。

ハミエットさんがご自宅で作って下さったもの、貴重な缶詰を開けてみなさんに紹介して下さったものなど、珍しい味に舌鼓を打ちながら堪能しました。

結婚式のピラフとは、日本のお赤飯のようなものであるとのお話に、中に入っているひよこ豆は幸せの黄色いハンカチならぬ、黄色いお豆なんだなと思いながら頂くと、とてもおいしく



て幸せな気持ちになりました。

トルコは観光地としては古代文明が数多くあり、その他にもパムッカレなど世界に二つとない素晴らしい自然の温泉があるので最近とても人気があります。

しかし、料理は日本ではなじみが薄く、この辺りではレストランもないので、トルコの家庭料理を食べることが出来た私達はとてもラッキーでした。

トルコ料理は国の位置でも分かるようにヨーロッパとアジア(米を食べる習慣)の食文化が混ざっているようです。

また、お料理の他にもトルコの紹介にと、ご自宅からいろいろな品物を持ってきてディスプレイした下さったお陰で、ハミエットさんとの話も弾み本当に楽しい時を過ごすことができました。そしてちょっぴりトルコに行ってみたくなりました。

ハミエットさん、参加者の皆さん、運営に協力して下さいましたスタッフの皆さんに心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



## ふれあい部会

# 雨にも負けず…国際交流フェア

「明日雨みたいよ」「冗談でしょ？」…

「やっぱり雨だよ」「誰が雨男なの？」

11月19日(日)、ここ何年も秋晴れの中で学習院  
游泳池にて開催していた「国際交流フェア」で  
すが、今年はなんと、雨の中での開催となりま  
した。

当日は、雨粒が落ちてこないうちにスタッフ  
総出で早朝より準備をし、急きょ傘ぶくろを  
用意したりと、祈るような気持ちでお客様を  
迎える準備をしました。

スタッフの心配をよそに、開場時間の11時半  
には数十人の列ができ、嬉しい悲鳴でフェア  
をスタートすることができ、総勢約400人の  
方々に参加していただきました。

ステージプログラムもビニールシートで屋根  
を作り、なんとか予定通り中庭で行うこと  
ができました。



雨の中をちっちゃな子ども達が日本舞踊を  
踊ってくれました。見ている側は、足袋が  
汚れないだろうか？ 着物が濡れないだ  
ろうか？ とハラハラしましたが、一生懸  
命に踊る子供たちに会場からは大き  
な拍手が寄せられました。

雨天にも拘わらず、どのブースも盛況  
で、舞台も盛り上がりました。本年度  
は、来年沼津で開催される技能五輪  
国際大会のPRブースも設け



られました。

各ブースでは、「ブゴールアヤム」「カン  
チャ」「チュペデカマロネス」「スペ  
サウジ」…と普段聞きなれない名前の  
各国のお料理を試食することもでき  
ました。各国のブースのスタッフの方  
々には、前日からお料理を準備をし  
ていただき、本当にありがとうございました。



来年度は、詳細は未定ですが、技能五輪  
国際大会の会場で国際交流フェアを行  
う予定です。

NICEの国際交流フェアのみならず、沼  
津の、そして世界の国際交流フェア  
として成功させるために、引き続き皆  
様のご協力をお願いしたいと思います。

## ●本年度参加ブース

NICE活動紹介・技能五輪国際大会PR・台湾・  
インド・華道・岳陽・カラマズー・煎茶道・  
書道・箏曲・きもの着装・ロシア・イラン・  
ペルー・インドネシア



# Year End Party 2006 サンフロント

## 12月2日(土) 18:00~20:30

今年のYear End Partyは御成橋のライトアップを眼下に見下ろしながら、静岡新聞社東部総局ビルサンフロント9階ミーティングホールで参加者一同（80名）が楽しいひとときを過ごしました。

各々が持ち寄った家庭料理を味わいながら歓談、NICE英会話教室講師マイア・カワイ先生と

お友達のALTの先生たちの歌、ゲーム、そして仮装のコンテスト、フィナーレはリキ・デキシールランド・クルーの演奏する「聖者の行進」にあわせて参加者全員が輪になって行進。

今年も一足早いYear End Partyは盛況の内に幕を閉じました。



### NICE 英会話教室（初級）

10月5日に始まった「NICE英会話教室（初級）」も12月10日の御用邸におけるフィールドワークをもって大好評の内に終了しました。講師のマイア先生のゲームなどをふんだんに取り入れた創意溢れる授業と、アシスタントの鈴木智晶部会員の絶妙なアシストにより、今までに倍する出席率を示しました。受講生のアンケートからも「スタッフが親切で楽しかった」という意見が圧倒的でした。スタッフの皆さん、お疲れ様でした。



**岳陽部会**

# 岳陽講座 盛況のうちに… 継続は力なり！

## 「友好都市岳陽講座」を受講して

沼田めぐみ

以前から広報ぬまづで外国の方との交流会の記事を何度か拝見してはおりましたが、なかなか日程が合わなかったり、普段外国の方とのお付き合いがないため、どう接してよいかわからないので興味はありましたが、講座に参加しませんでした。

今回の内容は～中国菓子を作り、中国茶をいただきながら交流を楽しむ～と書かれてありました。

中国菓子は今まで自分で作らずにお店で買う物のようなイメージがあったので、ケーキやパン、くずもちなどは作ったことがありましたが、何か特別な作り方なのか？ と興味がわき、中国茶を飲みながらなら、もしかしたら難しいテーマにそった意見交換ではなく気楽に楽しめるのかも…と思い、思い切って電話しました。

当日、岳陽市の研修生の方を見た時は緊張しましたが、同じ班の人たちとお菓子を作りながら話しをしたりしているうちに、想像していたより簡単に特別な材料でもなく、楽しく作ることができました。

出来上がりは、作り終わるまでわからなかったもので、オーブンで焼いている間ワクワクしていました。

作り終わった後の、お菓子や2種類のお茶を飲みながらの話の中で、研修生の方が今回習ったお菓子を食べたことがないと聞き、非常に驚きました。しかし考えてみると、自分も日本料理の中で食べた事がない物がたくさんあることに気づき、外国の方は今までは何となく近寄りたかったけれど、自分とそう変わらず身近に感じました。

まだ自分からは挨拶しかできななかったけれど、次回また交流のチャンスがありましたら勇気を出して、

普通の会話から話しかけられるようになりたいと思います。



## 「中国語講座入門コース」を受講して

佐々木 亨 (Zuo zuo mu Heng)

私は父の仕事の関係で中国の青島で生まれました。しかし滞在は三歳ぐらいまででしたので中国語は全く解りません。これまで仕事で中国に出張した時には通訳を介していました。

講座受講の動機は、これからは少しでも仕事や旅行で自由に会話がしたいと思ったからです。

最近になって中国語教本のCDを聞いたり、テレビの中国語を視聴したりしましたが、特にピンインの読み方が難しくなかなか理解できませんでした。

今回の受講で直接、講師と対面して喋り方や教え方を聞き疑問が解決しました。今後も機会を利用して勉強を継続したいと思います。

## 中国語にチャレンジ

足立 衛 (68歳)

講座申込みの時、年齢は？ 年齢制度で駄目かなと思いましたが入ることができました。しかし毎回最高齢でした。記憶力・聴力の低下はひどく、ついていけるか心配でした。でも、10習って1か2くらいは残るのではと開き直って続けました。

中国人講師の方々の生の生活感あふれた指導とNICEスタッフの細かい助力により、中学生、高校生と一緒にいるクラスでの受講も続けることができました。

8月の四川省の旅行ではホテルのスタッフとの別れ際に「謝謝、再見」と言ったところ、「再見、慢走」と返してくれました。

心の通った一瞬、旅の楽しみが倍増しました。

## 第15回 春節祭

中国を中心としたアジア各地で行われている旧暦のお正月を在住の外国の皆さんと共に祝い、交流しましょう。

と き 2007年2月18日(日) 11:00～15:00

と ころ 新仲見世商店街通り

内 容 太極拳・中国の歌・花架拳・和太鼓・南京玉簾・指文字・琴・尺八・友好都市中国岳陽市の紹介・豚汁・戸田塩・クッキーの無料配布と福引

**スタッフ大募集!!**